

**『はたらく中で交換されるもの』**（6月11日）を振り返って・・・ <みんなの感想より>

- 仕事の中には「ありがとう」と言ってもらえる仕事と直接は言ってもらえないけど、どこかで「ありがとう」と思ってくれる仕事があることがわかりました。だから全ての仕事に「ありがとう」は大切なんだと思った。（男子）
- 自分の仕事、役割に誇りをもってミスチルさんの歌詞みたいに「小さなプライドを勲章みたいに付けて」仕事をすると、嫌になったりしてもいくら大変なことがあっても一生懸命にガムシャラになれると思います。また、そういう人のために仕事をする事で毎日が楽しくなる気がします。（女子）
- 仕事をするというのは、お金をもらうためだけにするんじゃなくて、「ありがとう」という言葉をもらうためにしているんだと思った。例えそれを言ってくれなくても、絶対誰かが「ありがとう」と言ってくれると思った。（男子）
- 「働く」ということには、お金を稼ぐためや家族のために、等という理由が一番に思い浮かぶけれど、「働く」ということの裏側には、身内のためだけではなく世界のどこの誰かも分からない人のためでもあるということを改めて考え直しました。「誰かの役に立って、初めて自分の生き甲斐を見つけられる」そんな人になりたいです。（女子）
- 仕事はお金をもらうだけでなく、その先にある「感謝の気持ち」がある。稼いだお金の中にも感謝の気持ちが詰まっている。「ありがとう」と言ってもらえる人になりたい。（男子）
- 働くとはお金が動くことだと思っていたけど、それ以外にも気持ちが誰かに届くことを働くと言ってもいいのかもしれないと思った。だからこそそのありがとうもあるわけだから、将来陰ながら支える仕事もいいかなと思った。（男子）
- 「感謝」ということは直接的なこともあるけど、それよりもはるかに、間接的な「感謝」の方が多いと思います。これからは間接的な「感謝」に気づけるようにしていきたい。（男子）
- 私の職場では、感謝を直接されることが多かったけど、見えない『ありがとう』にこそ、つながりをたどっていけば、たくさんの『ありがとう』がかくれているんだと思った。これから私はたくさんの体験をして、それが人の役に立てていないんじゃないかって思うこともあると思う。でもそこには、たくさんの『ありがとう』がかくれていることを忘れずにいたい。（女子）
- その場で直接「ありがとう」と言われなくても、みんなの役に立てるのならそれでも良いと思いました。自分から、何かしてもらったらすぐに「ありがとう」と言うようにして、自分が言われるようにもなりたかったです。（男子）
- 改めて働くというのは大事なんだと思った。ありがとうという言葉を書いてもらおうと良い気持ちになるし、言った側も良い気分になると思った。これからたくさん「ありがとう！」を心を込めて言おうと思った。（女子）

店員も客も互いに「ありがとう」と伝える…お金の動きに関わらず、お互いの行為や言葉にその人の想いや表情が乗っかると「ありがとう」が互いに通うんですね。人は自分にできないことを他の誰かに頼って生きています。だから、みんなの周りにはたくさんの仕事があふれているし、その一つ一つが「<sup>はた</sup>傍を楽にしている(はたらく)」です。ただ、面と向かって「ありがとう」を交換する場合もあれば、洪水の時の堤防のように、後から「ありがとう」に気づく・届く仕事も沢山です。「なんて事のない作業がこの世界を回り回って、何処の誰かも知らない人の笑い声をつくっていく」という Mr.Children の「彩り」の歌詞のように、みんなのチャレンジ体験での仕事も多くの人の笑顔を作ったことだと思います。チャレンジ体験お疲れ様！

